

ふん尿の臭い対策にお困りの生産農家の方々に!!

養豚用におい対策飼料

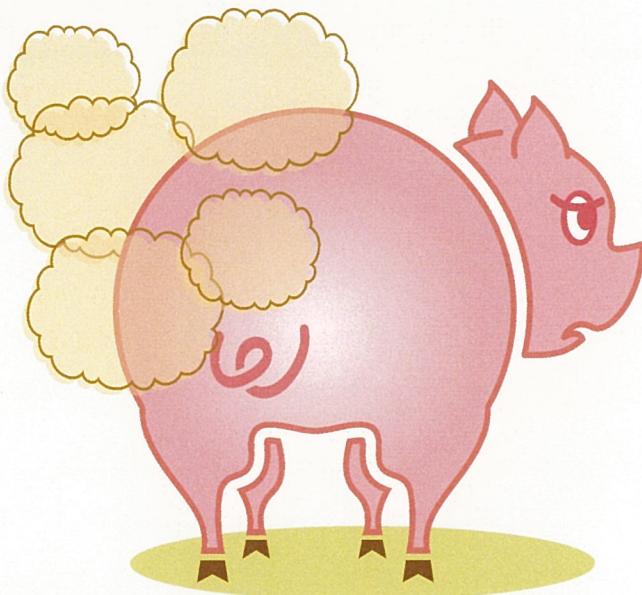


201(におわん)とは

201は、放線菌やユッカ抽出物などにより悪臭を低減する原料を配合した混合飼料です。

- 放線菌は養豚特有の悪臭である低級脂肪酸(VFA)を分解します。
- ユッカ抽出物は悪臭の主成分であるアンモニアの発生を抑制する作用を持っています。

※VFAとは、プロピオン酸などの靴下の蒸れた臭いに代表される物質です



豚舎での
悪臭低減効果
アップ!

微生物資材
の強化

堆肥舎での
悪臭低減効果
アップ!

リニューアルのポイント

今回のリニューアルでは3種類の放線菌のうち、最も有用な放線菌1種を残し、残りの2種を悪臭低減能力が高いバチルス属菌に変更しました。さらに、アンモニアを低減するバチルス属菌も新たに1種加え、微生物資材を合計4種とします。

■201のリニューアル内容

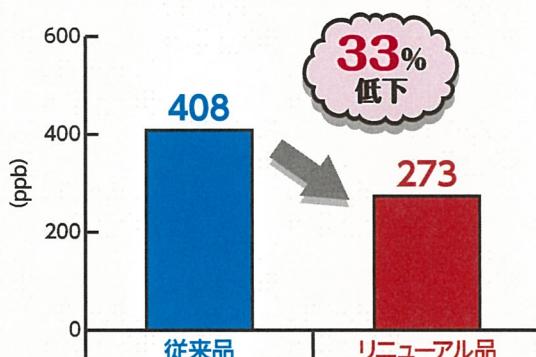
リニューアル前	変更	リニューアル後	期待する効果
放線菌1	継続	放線菌1	低級脂肪酸低減
放線菌2	中止	—	
放線菌3	中止	—	
—	新規	バチルス属菌1	
—	新規	バチルス属菌2	
—	新規	バチルス属菌3	アンモニア低減

豚舎での悪臭低減効果アップ！

豚舎の臭いの主な原因は低級脂肪酸です。低級脂肪酸を代表する臭いには、靴下の蒸れた臭いなどがあります。悪臭防止法にて特定悪臭物質とされている低級脂肪酸にはプロピオン酸、ノルマル酪酸、ノルマル吉草酸、イソ吉草酸の4種があります。

従来201とリニューアルした201を配合した飼料を用い、各区約500頭の給与比較試験を行いました。試験区は対照区と比較して肥育舎内の低級脂肪酸を約33%低減しました。

●肥育舎における低級脂肪酸低減効果 (特定悪臭物質4種合計)



堆肥舎での悪臭低減効果アップ！

堆肥舎の悪臭は豚ぶんの堆肥化過程にて発生します。嫌気条件下(酸素が不十分な状態)では、堆肥化が進まないことに加え、硫化水素やアミン類などの多くの悪臭原因物質が発生します。上手く堆肥化をさせるためには、堆肥の水分率を60%程度(堆肥を強く握り締めると、水分が出るか出ないかの状態)に調整し、切替しなどを行い、堆肥を好気条件下(酸素が十分にある状態)にする必要があります。

従来201とリニューアルした201を配合した飼料を給与した後、豚ぶんを堆肥舎で堆肥化しました。試験区は対照区と比較して堆肥舎内のアンモニアを約29%低減しました。

●堆肥舎におけるアンモニア低減効果 (検知管にて測定)

